管端防食キャップ用圧着ローラー
（ＧＸ形ダクタイル鋳鉄管用）

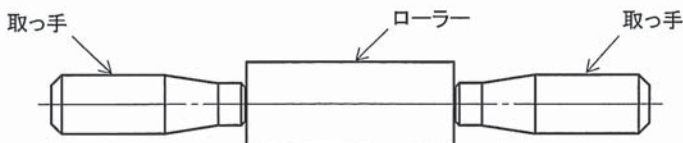
呼び径：７５～２５０mm

取 扱 説 明 書

この度は、圧着ローラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みのうえ、本製品を安全に正しくお使いください。

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示しています。

圧着ローラーの概要

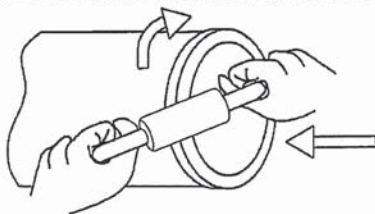
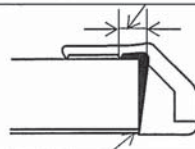
管端防食キャップ用圧着ローラー（以下、圧着ローラーと呼ぶ）は、GX形ダクタイル鋳鉄管の切管端面に防食キャップを取り付ける際、防食キャップを密着させることにより、切管端面と管内水との接触を断ち、切管端面の防食性能を十分に発揮させることを目的とした工具です。

⚠注意	管端防食キャップの施工以外には使用しないでください。
	圧着ローラーを投げたり、たたくなど強い衝撃を与えないでください。 圧着ローラーが変形又は破損し使用できなくなります。

使用前の点検項目

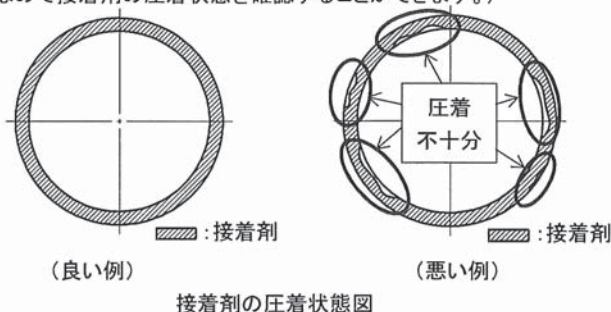
1 ローラーの回転が異常に重い場合やローラーに傷や亀裂がある場合は使用しないでください。

施工手順

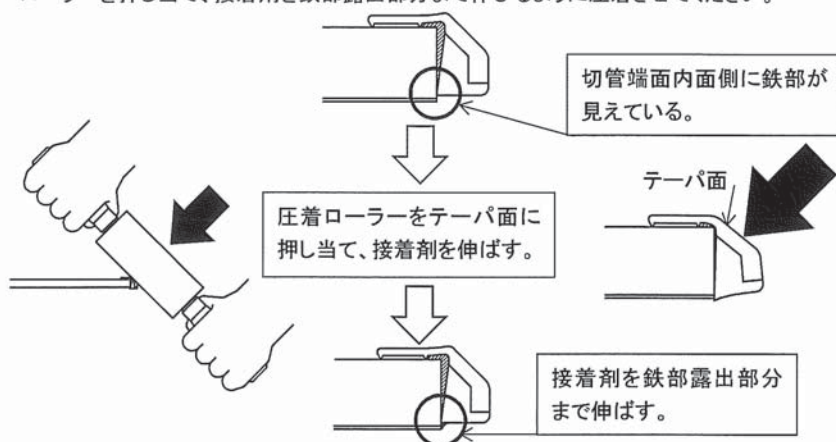
1 ＧＸ形ダクタイル鋳鉄管切管部に管端防食キャップを取り付けてください。取付手順の詳細は「ＧＸ形ダクタイル鉄管用管端防食キャップ施工要領書」日本ダクタイル鉄管協会、または管端防食キャップ付属の取扱説明書を参照してください。

2 圧着ローラーを防食キャップの正面から押し当て、接着剤が切管端面全面に伸びるように圧着してください。特に、接着剤が外周部（下図の範囲）まで伸びるように圧着させてください。

3　接着剤が切管端面全面に均一に圧着されていることを目視で確認してください。
（本体部は半透明なので接着剤の圧着状態を確認することができます。）

（良い例）　（悪い例）

接着剤の圧着状態図

4　圧着状態を確認し、切管端面内面側に鉄部が見えている場合は、次の方法により処理してください。

切管端面内面側に鉄部が見えている場合の接着剤の伸ばし方

切管端面内面側に鉄部が見えている場合は、下図に示すように防食キャップのテーパ面に沿って圧着ローラーを押し当て、接着剤を鉄部露出部分まで伸びるように圧着させてください。

⚠注意	上図に示す方法で接着剤を伸ばしても、管内面側に鉄部が露出している場合は、ダクタイル鉄管切管鉄部用塗料を露出している鉄部に塗布してください。

使用後の注意点

1　ご使用後は水分や汚れを十分に拭き取って乾燥させ、直射日光・高温多湿を避けて保管してください。

⚠注意	水分や汚れが残ったまま保管しないでください。また、直射日光・高温多湿を避けて冷暗所で保管してください。 変形・劣化し、正規の作業ができない恐れがあります。

販売元
株式会社クボテック
〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町 3-3-10
TEL(03)3245-3791　FAX(03)3245-3792

製造元
コスモ工機株式会社
本社／〒105-0003　東京都港区西新橋 3-9-5
TEL(03)3435-8805(代)　FAX(03)3435-8825